

第9回「山の日」全国大会実行委員会設立趣意書

日本は、北海道から九州に至るまで背骨のように山脈が連なり、国土の約7割を山地と丘陵地が占める世界有数の山岳国家です。これら山々の多くは、森林で覆われ、木材や食材の生産、生物多様性の維持、水源、土砂災害防止、二酸化炭素から酸素をつくるなど、私たちの暮らしを支える上で欠かせない存在です。

16番目の国民の祝日として制定された「山の日」は、こうした山に親しむ機会を得て、その恩恵に感謝する日とされており、この祝日が始まった平成28年から、この趣旨の浸透を図ることを目的に、「山の日」全国大会が各地で開催されてきました。

こうした中、令和7年度の第9回「山の日」全国大会が福井県において、福井市、大野市、勝山市で開催されることになりました。

本県は、本州のほぼ中央部に位置し、面積の大半を山地が占めていますが、ほとんどが1500m以下の低山であることから、古くから山村が多く点在し、山の恵みを楽しみながら生活を営んできた歴史があります。

本県の山は、日本百名山の荒島岳を始めとして、四季を通じて日帰りで登れる山が多く、気軽にニッコウキスゲやササユリなどの高山植物や美しい景色を楽しむことができます。また昨年8月には、大野市の経ヶ岳山麓に広がる南六呂師エリアが、「星空の世界遺産」とも呼ばれる「星空保護区」の認定を受けるなど、新たな魅力が再認識されています。

令和6年3月の北陸新幹線福井・敦賀開業に加え、令和8年春には中部縦貫自動車道が県内全線開通し、福井県の立地条件は格段に向上します。

第9回「山の日」全国大会では、たくさんの方々をお招きし、本県の山の魅力や豊かな恩恵を広く発信することで「山の日」への理解を深めるとともに、美しい日本の山々を将来の世代に引き継いでいく大会にしていきます。

この大会の開催に向け、関係機関や団体等、幅広い皆様の力を結集し、ここに第9回「山の日」全国大会実行委員会を設立します。

令和6年7月16日